

令和6年度 IR セミナー
開催報告

・ 目的

国の施策「2040 年に向けた高等教育のグランドデザイン」に基づき、3 つのポリシーを基盤とする教育・研究の質保証が求められている。また、18 歳人口が大きく減少する中で「選ばれる大学」となるために、教学マネジメントの構築が急務となっている。

それらを支援する IR 活動について講演し、互いの IR 活動および大学運営全体への貢献を考える機会として開催したものである。

・ 開催内容

教学マネジメントの構築を支援する IR 活動の事例について、八戸工業大学及び福井工業大学にてそれぞれが取り組んでいる IR 活動のレクチャーを下記の内容で実施した。

本セミナーは、大学の多面的な情報公開と内部質保証が求められている背景を踏まえ、双方の大学に共通した「地域に根差した大学」としての社会的役割を情報共有により更に高めるよい機会となった。

・ 日時

令和6年12月18日（水） 13:30 ～ 15:00

・ 開催方法

オンライン（Microsoft Teams） 各自の PC にて個別接続

・ 出席者

27 名

・ スケジュール

◆開会あいさつ 13:30 ～ 13:35

○八戸工業大学 学長補佐、IR 委員長 金子 賢治 教授

◆レクチャー1 13:35 ～ 14:10 （30 分間のレクチャー 5 分間の質疑）

「教育の質保証と IR 学修成果の可視化への取り組み事例」

○八戸工業大学

図書館・情報事務室

主査 齊藤 克治 氏

教育・学生支援部 教務・学生支援チーム

主事 茨島 涼 氏

(休憩 10分)

◆レクチャー2 14:20 ~ 14:55 (30分間のレクチャー 5分間の質疑)

「アセスメントテストの分析、アンケート結果を通じた大学改革の事例」

○福井工業大学

庶務 IR 課 課長 山本 健 氏
同 齊藤 理紗 氏

Microsoft Teams 画面

01:55:13

GPS-Academicについて

GPS-Academicで測定・評価できる力

答えが一つではない問いに対して
問題を解決する力

問題解決の質と深さを左右する
思考力
批判的 協働的 創造的 思考力

問題解決に向かう
姿勢・態度
レジリエンス リーダーシップ コラボレーション

問題解決の力を磨くための
経験
自己管理 対人関係 計画・実行

福井工業大学
Fukui University of Technology

02:15:27

まとめ

- GPS Academicは、課題解決のために必要な「思考力」「姿勢・態度」「経験」を可視化するアセスメント
- 問題解決の質と深さを左右する「思考力」(批判的、協働的、創造的)
問題解決に向かう「姿勢・態度」(レジリエンス、リーダーシップ、コラボレーション)
対人関係および物事に挑戦する「経験」(自己管理、対人関係、計画・実行)

「各年度の1年生・3年生の結果を可視化」

- 各年度、各学科の学生について様々な特徴を確認することができた
- 入試区分別での結果については、区分による実際の入試選考の検証になるのではないかと
- 学生個別にみると、海外学生の特性に一致している
- 各学科の先生にこの情報を提供して、学生指導などに利用していただく
- データを学内で共有し、学内の教育改革につなげていく → R7年度からカリキュラム変更予定

将来的には

- アセスメントによる測定・把握を「教育改善」「学生成長の機会(成長・学びへの動機づけ)」として活用

ディプロマポリシー (DP)の実現を目指すPDCAをしたい
またアセスメントポリシーの検討も進めていく

福井工業大学
Fukui University of Technology

◆閉会あいさつ 14:55 ~ 15:00

○福井工業大学 教学 IR 委員長 田中 智一 教授

◆閉会 (15:00 終了)